



【環境未来都市 スマートな住まい・住まい方プロジェクト】
横浜市ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)推進事業



よこはま ZEH(ゼッチ)・アカデミー

高断熱・省エネルギーな住宅
ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)について学ぶ

ZEHとは：

外皮の断熱性能等を大幅に向上させるとともに、高効率な設備システムの導入により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギーを実現した上で、再生可能エネルギーを導入することにより、年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロとすることを目指した住宅

日時 平成28年6月19日(日)
13:30～16:00 (13:15 開場)

対象 ・住まいの新築を考えている市民の皆様
・市内で住宅の新築を手がけている設計者・施工者の皆様

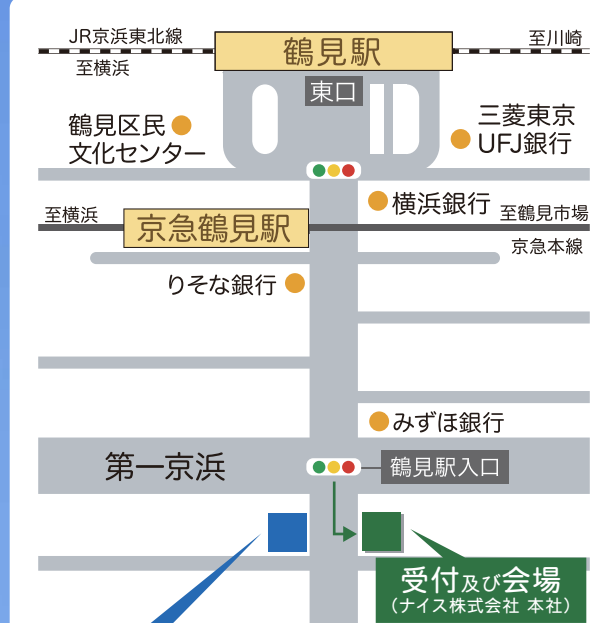
会場 ナイス株式会社 本社2F会議室
(所在地：横浜市鶴見区鶴見中央4-33-1 ナイスビル)
JR京浜東北線「鶴見駅」東口下車 徒歩5分
京浜急行「京急鶴見駅」下車徒歩3分

定員 先着60名(事前参加申込制)

参加申込方法 電話又はEメールにて
(申込先) 横浜市住宅供給公社 街づくり事業課
045-451-7740

平日午前9時～午後5時(土日祝定休)
eco-renovation@yokohama-kousya.or.jp
参加者氏名、職業・所属(会社名、学校名等)、
連絡先(電話番号、Eメールアドレス)
締切：6月17日(金)17:00まで

アクセスマップ



スマートウェルネス体感パビリオン



会場でZEHに関する講義を行い、その後、スマートウェルネス体感パビリオンに移動、施設体験していただきます。





ZEH と健康（講師：慶應義塾大学教授 伊香賀 俊治）

住まいの断熱性能を高めた ZEH は、省エネ・省 CO₂ になるだけでなく、朝方の冷え込みや部屋間の寒暖差がなくなり、居住者の健康リスクが減少する可能性が指摘されています。全国各地の住まいの温熱環境の調査結果を踏まえて、居住者の健康に与える影響について説明します。



スマートウェルネス体感パビリオン見学

横浜市とナイスグループの包括連携事業として、慶應義塾大学伊香賀研究室監修で実現した、住まいの断熱性や省エネ性と健康の関係を学べる施設『スマートウェルネス体感パビリオン』にて、断熱性の異なる居室で快適性や生理変化が体感できる「くらべルーム」などを体験していただきます。又、実際に ZEH に住んでいる方の声を、映像などで紹介していきます。



ZEH の全体概要（講師：株式会社みかんぐみ代表 竹内 昌義）

ZEH をうまく作るためには、エネルギーを作る、貯める仕組みとともに、建物本体の躯体性能について正しく理解、設計、施工することが重要です。その上で、日射取得や通風などを駆使して、快適に建物を作ることが求められます。そのために具体的にどのようなことに注意したらよいかを中心に、分かりやすく解説していきます。



ZEH 普及促進補助制度、CASBEE横浜 [戸建] の概要

今年度から開始する ZEH 普及促進補助制度の概要を紹介します。国の ZEH 補助要件に加え、横浜市独自の取組として、CASBEE横浜 [戸建] の一定のランク達成を補助要件とすることで、省エネルギー以外の要素にも配慮した総合評価の高い住宅の普及を進めていきます。

司会：佐々木 龍郎（株式会社佐々木設計事務所）

横浜市は、環境問題や超高齢化への対応などの様々な社会的課題に総合的に取り組んで活力ある都市をつくる、国家的なプロジェクト「環境未来都市」として国から選定されており（平成 23 年 12 月）、「環境未来都市推進プロジェクト」を進めています。本事業は、このプロジェクトのひとつである、「スマートな住まい・住まい方プロジェクト」（市民生活の基礎となる「住まい」・「住まい方」を切り口に、省エネルギーやライフスタイルの普及を図る取組）の一環として進めるものです。